



曲名 あなたへ

筒井雅子 作詞・作曲

—旅立ちに寄せるメッセージ

この曲は！

原曲は、杉並ジュニア混声合唱団への委嘱作品「混声のための合唱組曲“時の女神”^{ヴィーナス}」（全7曲）の最終曲として2006年に発表されました。この混声三部合唱版は、クラス合唱でも楽しめるようにと、作者の筒井雅子さんにより編曲されたものです。この曲の元となったのは、小学校教諭である筒井さんが卒業生に向けて贈った歌で、当初は1番のみだったそうです。1番の歌詞では「旅立つ人へのメッセージ」、2番では「旅立つ人自身の思い」がつづられ、非常に子どもたちに寄り添って書かれた曲だと感じます。中学生だけでなく、大学生や大人になっても、この曲が中学校時代の忘れられない曲だと挙げる人がとても多く、人気の根強い作品ですね。

藤原式練習法

美しい旋律で歌っていてとても気持ちいい曲だからこそ、自分たちが楽しむだけでなく、聴く人にどう伝わるかを考えることが大切です。

- ・シンコペーションや16分音符などのリズム、そしてブレスを正確に取りましょう。リズム打ちをしたり、歌詞をリズムで読んだりする練習も効果的です。
- ・前奏のリズムを意識しましょう。左手の4ビートと、右手のシンコペーションというこの躍動感に満ちた、カッコいいリズムパターンはサビの部分にも現れます。この前奏の部分から気持ちを入れて、心を揃えて美しいユニゾンで歌に入っていくように心がけましょう。
- ・男声と女声の掛け合いを楽しみましょう。メロディーラインの入れ替わりに注目して、豊かな響きをつくるようにしましょう。

具体的なアドバイス・ポイント

- ・21小節からは、前奏にも出てくるリズムパターンを力強く歌うことが大事ですが、そのリズムを生かしながら大きな長いフレーズを感じて歌いましょう。
- ・2番に移るとき（29小節～）は、直前のサビでの盛り上がりとのメリハリを意識して、語りかけるように始めましょう。色を付け直していくようなイメージです。
- ・61小節からC dur（ハ長調）に長2度転調しますが、勢いにまかせず、しっかりとした調性感をもって捉えられると、ここがいちばん感動的なポイントになります。転調の瞬間だけでなく、その調の色合いをキープしてフレーズを最後まで歌い通す力が必要です。
- ・転調後はソプラノの音が高くなるので、喉で押さずにきちんと響きをつけて、息を背中から後ろへ回すような感じで発声しましょう。
- ・68小節と76小節に設定されている、4分の2拍子に注意しましょう。4分の4拍子の2拍目との違いを意識して、少し流れそうなものを引き締めるような感覚を4分の2拍子に感じられるとよいでしょう。

この曲を 初めて歌う人に

この曲の好きなところを見つけたら、まずはその部分を誰よりも好きだぞという気持ちで思いっきり声を出して歌ってみてください。そうすると気持ちののった、より立体的な音楽になると思います。また、女子は全員でアルトを歌ってみることをおすすめします。メロディーが美しいのでソプラノの希望者が多いと思いますが、アルトの旋律や響きを知ってから少しずつソプラノの人数を増やしていくようなやり方も試すと充実したハーモニーを感じられるでしょう。

表現を深めよう

詩を朗読してみましょう。少し舞台を意識したような、演劇的な要素を取り入れた朗読の仕方がよいと思います。縦書きの詩が載っているので、1行ずつ交替して読んでみるのも効果的です。

より感動的に 歌い上げるための アドバイス

場面ごとのコントラストをどれだけ鮮やかに描けるか、つまり詩と音楽の構成力が鍵になります。伴奏のリズムや音型を感じ取ったり、旋律のリズムやフレーズ、転調などそれぞれの音楽的特徴や変化を捉えたりして、全体の構成を把握しましょう。音楽の構成が分かったら、歌詞においても何を伝えているのかをみんなで考えていきます。そうすることで、この曲のもつ深みが表現できるので、ぜひ掘り下げてみてください。「悲しみを知った分 優しくなれる」、そういう言葉がしっかりと相手に伝わる演奏を意識して大切に歌ってほしいですね。